

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立川島小学校

校長 坂下 博夫

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

川島小学校の学校教育目標「仲間と共に学びに向かう子」、めざす学校の姿「安心して学ぶことができる学校」、めざす子どもの姿「筋道立てて考え表現する子」の実現に向けて、地域の方や保護者に学校運営に参画していただき、協議しながら、教育活動や教育環境の具体的な改善・充実に向けて取り組みを推進しています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

・ 1年生 防災水の贈呈

毎年、川島地区防災会より、1年生の子どもたちに「防災水」の贈呈のセレモニーを実施してもらっています。しかし、昨年度に引き続き今年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言解除後の10月初めに、子どもとの接触を避け、校長室にて校長が受け取りました。



・ 3年生 福祉体験学習

10月に、四日市市社会福祉協議会の協力を得て、身体や聴覚、視覚に障がいのある方から話を聞いたり、一緒にスポーツで交流したりする福祉体験学習に取り組みました。障がいのある方との出会いを通して、誰もが人権を大切にして、生き生きと暮らせる社会について考えました。

3年生が、サウンドテーブルテニス三重県代表の黒田さん、サウンドテーブルテニスの審判をされる中野さん、四日市社会福祉協議会の安田さんにお越しいただき、いろいろな話を聞かせていただいた後、実際に、サウンドテーブルテニスを体験させていただきました。



・ 5年生 ボッチャ体験・福祉施設との交流

地域出身の車椅子で生活する青木さんに来校いただき、生活の様子を話していただいたり、ボッチャの説明を聞き、実際に体験したりしました。

また、昨年度同様、新型コロナウイルス感染対策として、地域の福祉施設との交流をするため、直接触れ合うことがない手紙での交流を行いました。5年生が福祉施設の方に、学校生活の様子を手紙で伝えるとともに、折りづるを作製しました。手紙と折り鶴は、川島地区社会福祉協議会の方に届けていただきました。お礼にお手紙もいただきました。



・ 3年生「認知症サポーター」の学習

11月に、3年生が総合的な学習の時間に、「認知症サポーター」の学習をしました。川島在宅介護支援センターの松田さん、生川会長さんをはじめとする民生委員の方々、高齢福祉課の方々に来ていただき、寸劇も交えながら、認知症についてわかりやすく教えてもらいました。



・ 2年生「さくら守」の学習

9月に、2年生が生活科の時間に、川島千本桜の学習をしました。川島地区の鹿化川の河川敷の桜並木を守る活動をしている「さくら守」の片岡さん他会員の方々に来ていただき、桜の木の説明や活動内容についての話をいただきました。また、桜の木に掛けるプレートを作る活動を行いました。児童が、地域の千本桜に親しみを持つきっかけとなりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

【学校評価アンケート結果】

ほとんどの質問項目で、AB（肯定的な回答）を合わせて90%以上でした。しかし、前年度に比べ、質問項目7「学校生活のきまりや社会生活のルールなど規範意識を身につける教育が進められている。」が4%低くなりました。

全校行事や授業参観、各学年の行事等を、感染対策を取りながら実施し、学校での子どもたちの様子を直接見てもらう機会を徐々に増やしてきたことで、質問項目10「保護者、地域の人々に授業を公開し、開かれた学校作りに努めている。」では、前年度より11%高くなりました。

今後も、コロナ禍における学校行事や、開かれた学校づくりを工夫して実施していき、学校における規範意識について様々な教育活動で身につけられるよう取り組んでいきます。

【子どもたちの様子】

今年度は、感染対策を行いながら、各学年で地域の人々やゲストティーチャーを招いて、直接お話を聞いたり交流したりする学習を行うことができました。住みよいまちづくりのために地域の方が活動していることを改めて知る機会となり、理解を深めることができました。また、自分たちにできることは何か、今後どのようなことをめざすのかについても考えることができました。

【教師の意識】

総合的な学習の時間の探究的な学習活動として、地域の方との協働的な学びを工夫して実施してきました。今年度は、コロナ禍の中でも、教師が子どもたちと向き合い、よりよい学校生活や学習活動を推進するために授業を工夫しようと努めました。今後も、感染対策を取りつつ、人との出会いを取り入れ、地域の方との協働による学習が充実するように、本校の特色ある教育活動として、年間指導計画に位置付けて継続していきたいと思っています。

3 今後に向けて

四日市版コミュニティスクールの指定を受け、5年目となりました。今年度も、新型コロナウイルスの影響がありましたが、感染対策をとりながら、地域と連携した活動を復活することができました。しかし、本校のコミュニティスクール事業のメインでもある、夏季休業中に実施している「未来塾」については、北校舎の大規模改修工事のため、開催することができませんでした。今後の「未来塾」のあり方についても、検討する必要がありますが出てきています。

今後も、運営協議会で協議をしながら、地域の教育力を活かし、保護者・地域・学校がともに協働し、教育活動の充実を図っていくとともに、学校教育ビジョンの達成に向けて、学校運営に取り組んでいきたいと考えます。また、中学校区の連携を深め、取り組みを広めることで、より地域に根差したコミュニティスクールが確立されと考えられます。中学校区として、9年間の学びを保障するために、どのような活動をしていくべきなのかを検討し、取り組みを進めていきたいと思います。